

平成16年8月23日

報道機関 各位

情報化推進部情報企画課長
河野 登

広島産学官連携フェア 「広島大学リエゾンフェア2004 in 東京」 の開催について

本学では、昨年度に引き続き、東京で「広島大学産学官連携フェア～広島大学リエゾンフェア2004 in 東京」を、下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

開催日時 平成16年10月12日(火)10:30～18:40
会場 東京都立産業貿易センター・浜松町館(東京都港区海岸1-7-8)
主催 広島大学
後援 文部科学省、経済産業省、東広島市、日刊工業新聞社

プログラム

1. 開会式 10:30～11:00 主催者挨拶、来賓ご挨拶
2. マッチングセッション 11:00～17:00
 - ・事業化シーズの紹介(32件出展)
 - ・「シリコンヒルズ構想」
 - ・社会連携推進機構活動の紹介技術相談会 11:00～17:00 個別相談コーナー
3. 主要プロジェクト発表 11:00～15:00
 - ・「広島大学社会連携推進機構の設立と将来の展開」
広島大学 理事・副学長(社会連携担当) 興 直孝
 - ・「産学官連携推進の現状と将来」
文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課長 田中敏
 - ・大学発ベンチャー事例:「ヒト肝細胞を持つキメラマウス」
広島大学 理事・副学長(研究・国際担当) 吉里 勝利
株式会社フェニックスバイオ 副社長 島田 卓(*)
 - ・産学協同研究事例:「かいわれ大根へのビタミンB12の導入とその意義」
広島大学名誉教授 佐藤 一精(*)

株式会社村上農園

(*)は発表者

4. 交流会

17:10～18:40

【問い合わせ先】

広島大学産学連携センター

教授 松井、助教授 白浜

TEL:082-421-3645、3644

FAX:082-424-3639

E-mail:mmatsui@hiroshima-u.ac.jp

[発信枚数;A4版 2枚(本票含む)]

・[「リエゾンフェア2004 in 東京」の開催について](#)

2004.8.23

「広島産学官連携フェア～ 広島大学リエゾンフェア2004 in 東京」

広島大学 産学連携センター

1. 背景

地域産業活性化のため、産学官により新産業を創出していくことが重要となっています。国による産学官連携に関わる科学技術振興予算の増加や、大学発ベンチャーに対する各種支援策の整備が進み、地域における産学官連携に対する期待はますます高くなっています。

広島大学では、世界トップレベルの特色ある総合研究大学を目指すとともに、基礎的・先進的研究の更なる活性化を図り、産業界との連携を深めることによって、新たな産業(技術)革新の実現に向けた挑戦を続けていきたいと考えています。

2. 趣旨

広島大学では、研究成果に基づく事業化(技術)シーズを公開することによって産業界との連携を深め、共同研究の促進、研究成果の事業化・製品化の実現を目指すことを目的として、平成13年度から「広島大学リエゾンフェア」を開催してきました。

本年度は、昨年度の成果を踏まえ、引き続き東京で「広島産学官連携フェア～広島大学リエゾンフェア2004 in 東京」を開催し、首都圏の企業・研究機関との連携を深め、新たな産業(技術)革新の実現に向けた挑戦を続けていきたいと考えています。

なお、本フェアは昨年同様、広島大学と広島県、ひろしま産業振興機構が協働して執り行います。

3. 広島大学の出展・発表の概要

広島大学の研究成果に基づき32件の個別シーズを展示・公開し、企業・団体などからの参加者とニーズ・シーズのマッチングを行います。

- (1) 特別ブースでは、新しく設立された広島大学社会連携推進機構の活動概況ならびに地域との協働事業「シリコンヒルズ構想」の展示を行います。
- (2) 主要プロジェクト発表では、文部科学省、本大学社会連携推進機構からの基調講演に続き、ベンチャー並びに共同研究などの成功事例などを紹介いたします。

4. 期待される効果

- (1) 広島大学の代表的な研究成果を広く都市圏の企業・団体・研究機関の方々に理解して頂きます。
- (2) 本フェアを通じて、共同研究などの成果が生まれることを期待しています(目標約10件)

5. 参加対象者

一般企業、官庁、自治体、大学、各種研究機関、TLOなど産学官連携推進に関わる機関・団体。約500名参加を想定。

以上